

【競争参加者様へ：留意点】

プレ公示段階での質問回答での回答内容は、企画競争説明書／入札説明書の段階で変更の可能性があります。

2023年5月31日 更新

質問者記入欄						
公示予定日	調達管理番号	案件名	担当部・課	質問内容	回答	回答日
2023年6月7日	23a00108000000 23a00109000000 23a00110000000 23a00111000000 23a00112000000	全世界2023年度案件別外部事後評価全パッケージ	評価部 事業評価第一課	評価対象案件について、事前評価時にJBICにて環境審査課長としてかかわった場合、当該案件の評価業務に従事することはできないでしょうか。	利益相反に該当するか否かの判断については、評価対象案件毎に個別に確認いたします。 該当と考えられる評価対象案件につきまして、それぞれについて、従事した業務のTOR・人月等、評価業務との関係、利益相反の軽減・防止策などについて（従事した業務内容がわかる関連資料がある場合はそれも併せて）、評価部事業評価第一課宛（evte1@jica.go.jp）に情報を提出ください。	2023年5月31日
2023年6月7日	23a00108000000 23a00109000000 23a00110000000 23a00111000000 23a00112000000	全世界2023年度案件別外部事後評価全パッケージ	評価部 事業評価第一課	弊社コンサルタント個人Aが、JICA管理職として関与した案件Bを含む事後評価パッケージにおいて、JVを編成する他社が総括及び案件Bを担当し、弊社コンサルタントAがその他の案件を担当する場合、コンサルタントAは業務に参加できるでしょうか。	5月10日に回答済みの内容について、以下の通り訂正してご回答いたします。 利益相反に該当するか否かの判断については、評価対象案件毎に個別に確認いたします。 該当と考えられる評価対象案件につきまして、それぞれについて、従事した業務のTOR・人月等、評価業務との関係、利益相反の軽減・防止策などについて（従事した業務内容がわかる関連資料がある場合はそれも併せて）、評価部事業評価第一課宛（evte1@jica.go.jp）に情報を提出ください。	2023年5月31日
2023年6月7日	23a00236000000	モルディブ国、ケニア国人材育成奨学計画準備調査（一般競争入札（総合評価落札方式））	資金協力業務部 実施監理第二課	1. 今回の調査対象国それぞれについて、想定される修士、及び博士の受入上限人数について教えてください。 2. 今回の調査対象国それぞれについて、想定されるJDS開発重点分野とコンポーネントを教えてください。 3. 本協力準備調査の概要（貴機構が求める調査項目と想定されるプロセス）を教えてください。 4. 本体事業における代理実施機関の機関のうち、主要業務（特に事業の付加価値化）について教えてください。	【モルディブ】 1. 6名（修士のみ） 2.（重点分野）「地域振興による強靱な経済・社会構造の構築」「環境・気候変動対策・防災」「ガバナンス能力の強化」（コンポーネント）「地域振興」「環境・気候変動対策・防災」「ガバナンス能力強化」 【ケニア】 1. 13名（修士12博士1） 2.（重点分野）行政機能の改善（コンポーネント）「中央政府及び地方政府に係る行政能力の向上」「経済計画/政策及び公共財政管理/公共投資管理に係る能力向上」「法律策定・運用に係る能力向上」「都市及び地域開発計画/政策に係る能力向上」「環境および気候変動適応計画/政策に係る能力向上」 【2か国共通】 3. （調査概要） ・留学対象分野・課題案に対するニーズ調査 ・キャリアパスに係る調査 ・他ドナーによる奨学金事業に係る調査 ・現地での事業実施体制に係る検討 ・上記調査結果を踏まえ、戦略的な協力枠組みの検討 ・日本国内での留学生の受入れおよび支援業務に係る検討 ・概略事業費積算 （調査プロセス）国内調査として政府関連機関の構成や公務員人事制度等既存の情報は過去の報告書を参考に抽出し、現地調査においてそれらのアップデートを行う等調査の効率化を図る。 また現地調査においては大学選定に係る協議や当該国の特徴・動向及びJICAが実施している他の長期研修員事業を踏まえたより戦略的な受入計画の策定を中心に実施することとする。 4. 本体の主要業務としては、公表している運営ガイドライン2(8)の通り。 （https://www.jica.go.jp/activities/schemes/grant_aid/summary/ku57pq00001kpz8b-att/JDS_guidelines_en.pdf） 付加価値提供の点は、大学での一般的な教育・研究活動に加えて実施される本事業の価値を高めるための特色ある活動。 例えば2022年度にはリーダーシップ研修（中間研修）、行政官交流会、インターンシップ等を実施。 対象国や対象者にとって有益と考えられる付加的な活動の提案が期待される。	2023年5月31日
2023年6月7日	23a00238000000	エルサルバドル国人材育成奨学計画準備調査（一般競争入札（総合評価落札方式））	資金協力業務部 実施監理第二課	1. 今回の調査対象国それぞれについて、想定される修士、及び博士の受入上限人数について教えてください。 2. 今回の調査対象国それぞれについて、想定されるJDS開発重点分野とコンポーネントを教えてください。 3. 本協力準備調査の概要（貴機構が求める調査項目と想定されるプロセス）を教えてください。 4. 本体事業における代理実施機関の機関のうち、主要業務（特に事業の付加価値化）について教えてください。	1. 7名（修士6名博士1名） 2.（重点分野）「経済の活性化と雇用拡大」（コンポーネント）「運輸・交通及び沿岸開発」「経済活性化のための産業振興」 3. （調査概要） ・留学対象分野・課題案に対するニーズ調査 ・キャリアパスに係る調査 ・他ドナーによる奨学金事業に係る調査 ・現地での事業実施体制に係る検討 ・上記調査結果を踏まえ、戦略的な協力枠組みの検討 ・日本国内での留学生の受入れおよび支援業務に係る検討 ・概略事業費積算 （調査プロセス）国内調査として政府関連機関の構成や公務員人事制度等既存の情報は過去の報告書を参考に抽出し、現地調査においてそれらのアップデートを行う等調査の効率化を図る。 また現地調査においては大学選定に係る協議や当該国の特徴・動向及びJICAが実施している他の長期研修員事業を踏まえたより戦略的な受入計画の策定を中心に実施することとする。 4. 本体の主要業務としては、公表している運営ガイドライン2(8)の通り。 （https://www.jica.go.jp/activities/schemes/grant_aid/summary/ku57pq00001kpz8b-att/JDS_guidelines_en.pdf） 付加価値提供の点は、大学での一般的な教育・研究活動に加えて実施される本事業の価値を高めるための特色ある活動。 例えば2022年度にはリーダーシップ研修（中間研修）、行政官交流会、インターンシップ等を実施。 対象国や対象者にとって有益と考えられる付加的な活動の提案が期待される。	2023年5月31日
2023年6月7日	22a00989000000	南アジア地域クロスボーダー物流促進情報収集・確認調査【有償勘定技術支援】（QCBS）	南アジア部 南アジア第一課	公示予定日（予定）が延期となっている理由は何でしょうか。	インド政府との間で調査実施に係る調整を行っているため。	2023年5月31日
2023年6月7日	22a00989000000	南アジア地域クロスボーダー物流促進情報収集・確認調査【有償勘定技術支援】（QCBS）	南アジア部 南アジア第一課	履行期間（予定）は何ヶ月間でしょうか。（開始時期は公示時期に合わせて変更されていますが、終了時期は変更となっていません。全体工期は短くなるのでしょうか。）	履行期間の延長については調整中。	2023年5月31日